

国際的なPPPの潮流と最近の話題

水未来会議2020
2020年1月24日

東洋大学大学院
公民連携専攻
難波 悠
(yu-namba@toyo.jp)



TOYO UNIVERSITY



PPP SCHOOL
Japan

水未来会議2020

東洋大学のPPP活動のご紹介

東洋大学のPPP活動

- 大学院公民連携専攻
 - 2006年度開設
 - 実務偏重のPPPを体系的に学ぶ&官民ネットワーキングの場
 - インフラ開発だけでなく自治体経営など広い概念のPPP
- PPP研究センター
 - PPPに関する研究
 - 自治体等からの受託研究（地域再生支援プログラム）
 - 産学官の研究（例 省インフラ研究会）
 - リサーチパートナー
- アジアPPP研究所
 - アジアでのPPP普及啓発
 - 受託研究（Regional Development Advisory Program）
 - 企業、自治体等のメンバーシップ
- 国連欧州経済員会のInternational Centre of Excellence on PPPs in Local governmentsとしても活動

アジアPPP研究所

- 「PPPの共通理解」「最低限の水準を満たす（バンカブルな）PPPプロジェクト」の必要性
- アジア圏自治体、JICA等からの受託研究、プロジェクトファインディング
 - フィリピン（ブトゥアン市、マンダウエ市、セブ州、北スリガオ州、イリガ市）、キルギス、マレーシア（ケダ州）、インドネシア
- PPPセミナー、研修事業



お仕着せのPPPはうまくいかない（制度、プロジェクト）

- 現地に合わない制度（現地政府も！）
- 一方的な開発援助
- 現地が買えない技術

一方で、日本的な緩やかなPPPが上手くはまることも

事例紹介（フィリピン・ブトゥアン市）

- ・ 2011年に調査を実施、プロジェクト提案
- ・ 現地の信頼できる「チャンピオン」を見つけるかがカギ
- ・ 自治体がPPP条例、PPP委員会を設置
- ・ 自治体、現地企業、現地大学と日系企業が協力し合ってPPPによるプロジェクト実現

◇実現しているプロジェクト

- ・ **水道水供給事業**…市水道公社に対してバルク水を供給。
- ・ **小水力発電事業**…電力公社に対して電力販売（FIT活用）。日本からの2ステップローンなどを利用
- ・ **中古農機具の活用・精米所**…日本で利用されなくなった中古農機具を無償提供。運搬費・関税は現地の篤志家や自治体が負担。小作農家の生活改善のための精米所設置
- ・ **工業団地開発**…精米所周辺の余剰地を活用。食品加工等による六次産業化
- ・ **ウナギ・エビ養殖**…使われなくなっていたエビ養殖地の再生。高付加価値化





PPP SCHOOL
Japan

水未来会議2020

最近のPPP分野に関する話題提供

「世界的にPPPやめようって
雰囲気になってきているよね」

SDGs ゴール17の意味するも
のは何だろう



世界的な「PPP」の文脈

※世界的に共通したPPPの定義は無い。
往々にしてBOTやコンセッション等狭義

欧州

- ・「小さな政府」「欧州統合」の流れで生まれたPPP
- ・プラグマティズム、各国の独自性とEUの統ルール
- ・英：PFIの廃止、ただし亜種は健在。Payment by Result、SIB等より広いPPPへ
- ・仏：コンセッションに課題も？
- ・南欧：金融危機以降の破綻事例も多数
- ・北欧：3セク、市民との協働型等
- ・EU：科学技術開発PPP、社会実験

米国

- ・統一的PPP手法がない（パッチワーク状態）
- ・不動産開発型PPPとインフラ整備PPP
- ・包括委託など委託形態は多様
- ・「荒廃するアメリカ」への対策←ただし、現政権の下で政策は二転三転

オーストラリア

- ・英国型PPP、各州の独自性と統一規範
- ・金融機関のリード、国内建設産業が弱いことは認識→海外企業を歓迎
- ・徹底した情報公開

世界的な「PPP」の文脈

アジア

- ・ BOTからPPPへ（黒船型）
- ・ 制度を使いこなせない、遂行力は低い
- ・ テクニカルに走る、権力分散、公営企業
- ・ 不動産開発型、公共交通指向型開発に機会
- ・ 現地に合わせた技術が必要

中国

- ・ 一帯一路はPPPで?!
- ・ 「闇の銀行」とPPP...
- ・ 「高質の開発」で社会サービスに注目

中東

- ・ 国営から民営化、PPPへ?
- ・ 高価な技術、製品も買う能力あり

アフリカ

- ・ 注目度は高いが...?
- ・ 大型事業は国の財政の持続性への重荷
- ・ 資源開発と切っても切り離せない
- ・ 独裁者と上手に付き合う

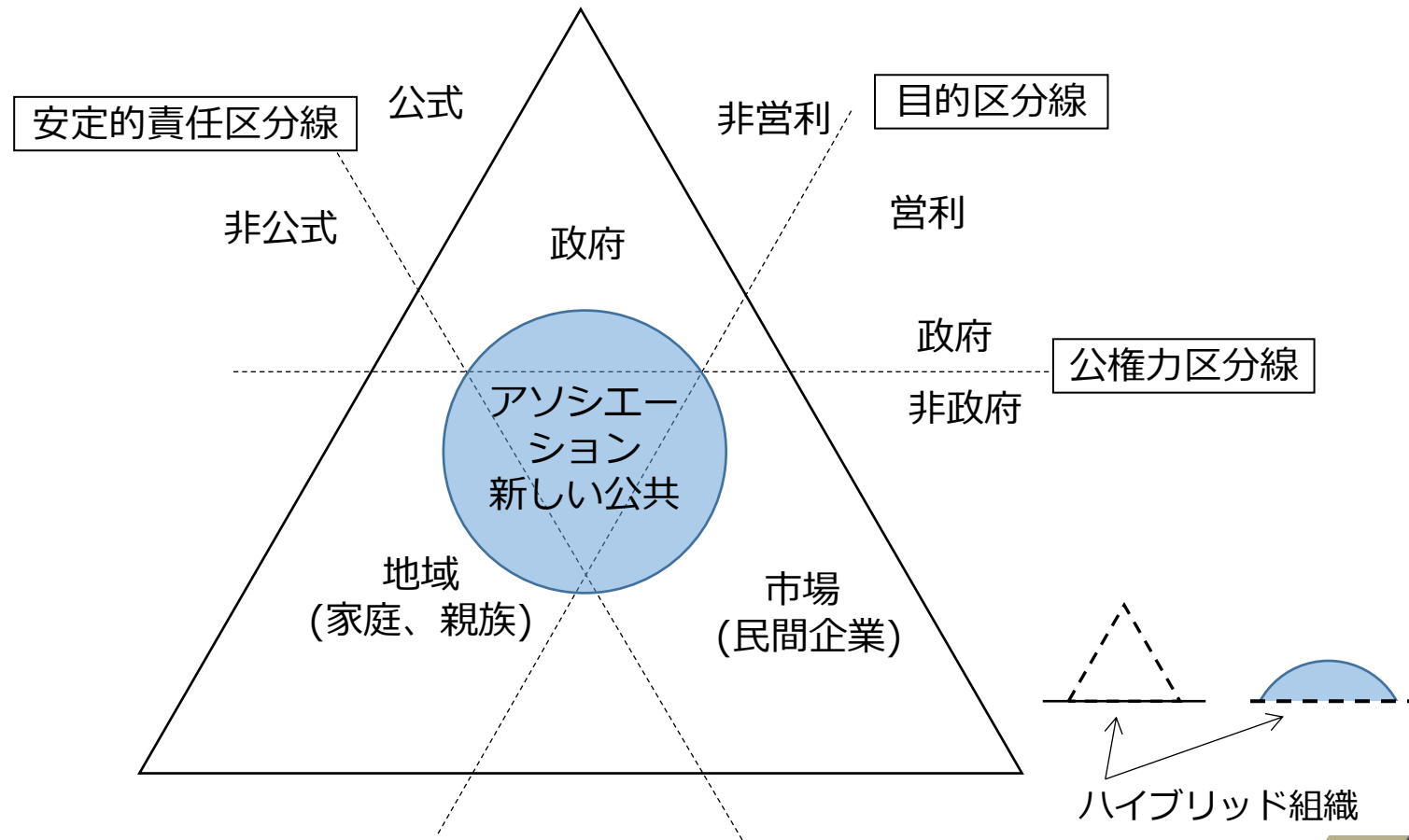
最近の話題と気になっていること

- 国連PPP推進局での話題
- SDGs
 - PfPPP (People-first PPP)
 - アクセス向上と平等性
 - 強靱性と環境の持続性
 - 財政の持続性と経済効率性
 - 他地域への展開、大規模化
 - ステークホルダーの参加
 - PfPPP Assessment tool
 - 今後1年程度で上記の評価ツールを作成する予定
 - しかし… (過去3～4年同じ議論の繰り返し)
- EBPMとPayment by Result (英国)
 - VFM、ベストバリューによる自治体業務の評価
 - **社会価値の金銭価値化**
 - 様々な分野で性能発注・PbRが進み、イノベーションのきっかけにも
 - SIBの誕生

日本の「質の高いインフラ開発」
への関心は高い

PPPのトライアングル

- ペストフの社会福祉のトライアングルが元
- それぞれの主体間に存在する区分線を超える方法



SDGsの評価の試み



灰色の線:SDGsの目標

カラーの線:自地域・プロジェクトで重視するSDGsの目標

カラーの花びら:SDGsの達成度